

4月28日、県本部委員会（総会）が開催されました。

県本部役員、委員が決まり、新しい年度がスタートしました。新本部長に就任された西山良太郎朝日新聞静岡総局長からは、「動画が広がる今、それにつれてスチールの世界の価値がますます重要になってくる。充実した一年にしてほしい」というお話がありました。また、委員長に再任された中村勝利氏は「会員のご理解とご協力のおかげで各事業が盛んになり財政面でも安定してきた。さらに、会員を増やしていくとともに、全日写連の主催する全国展へも積極的に参加しよう」と呼びかけました。

<今年度の事業について>

(1) 夏の県本部大撮影会 「細江神社の祇園祭りを撮ろう」(浜松市北区細江町気賀)

県下の会員の交流の場、祭りとして

会員の参加率(一昨年)37%から(昨年)47%へ増加、さらに50%を目指そう!

昨年の「吉原の祇園祭りを撮ろう!」の参加者は133人と、一昨年の108人を大きく上回りました。担当支部の富士支部のみなさん、そして参加された会員のみなさん、本当にご苦労様でした。

今年は、西部の3支部が準備を進めてくださっています。各支部、誘い合って参加してください。

- ・日時：7月14日(日) ○詳細はチラシをご覧ください。(支部長さんから)
- ・参加費：昨年と同じ。・応募締切り：8月10日(土)
- ・担当支部：掛川支部、浜松支部、浜名湖支部 ・チラシ4000枚印刷
- ・審査：写真家 外山ひとみ氏 ・審査日：8月20日(火)朝日新聞東京本社
- ・表彰式：11月3日、第58回静岡県写真展表彰式に併せて実施
- ・展示：第58回静岡県写真展と併展。(地元での開催も可能性がある。)

(2) 第58回静岡県写真展

全日本写真連盟の存在をアピール、県下の写真文化を高めていく場として

昨年の応募者の総数は、387人(一昨年は334人)でした。応募作品数は2,886枚(一昨年は2,708枚)支部会員の参加率は54.6%と増えています。カラー、モノクロ、組の3部門に支部員全員が出品するという支部が2支部ありました。特筆すべきことでした。

- ・募集期間：8月15日(木)～31日(土)詳細はチラシをご覧ください。(支部長さんから)
- ・出品料は昨年と同じですが、「郵便振替」で口座に払い込むようになりました。(持参可)
- ・支部員の応募：支部ごとにまとめて応募。支部応募者整理表をチラシと一緒に送付します。
- ・審査日：9月9日(月) ・審査員：土田ヒロミ先生
- ・入賞・入選者への通知作成：9下旬を予定(実行委員会)
- ・展覧会準備と設営：10月28日(月)13:00～(実行委員会と協力委員)

・展覧会 グランシップ 6F ギャラリー

期間：10月29日(火)～11月3日(日)6日間 午前10時～午後5時

- ・表彰式 11月3日(日)14:00～その後、片付け(実行委員会、他)
- ・写真展のDM葉書(3000枚)を昨年同様に作ります。

(3) 新春写真講座 全日本写真連盟県下会員の学ぶ場として平成26年1月予定

一昨年、昨年同様に、写真家土田ヒロミ氏による「ワークショップ」を予定しています。充実した写真生活への土田先生の提言が好評です。まだ参加されていない方のご参加をお勧めします。

(4) 県本部創立60周年記念事業「ベトナム北部」撮影旅行を11月に実施

定員25名に近い参加希望者がありました。旅行日程も検討中です。さて、どんな写真が撮れますか。

(事務局中村)